

令和4年度 ACTR

分類 番号	A3	取組 名称	京都府北部の MALUI 連携による文化資源を活かした地域づくり
研究代表者所属・職名：		文学部・教授	氏名： 東 昇
研究担当者： 京都府立大学（菱田哲郎・小林啓治・上杉和央・諫早直人・福井亘・佐々木尚子・小滝篤夫） 外部分担者・協力者（福島幸宏氏・小室智子氏・西村正芳氏・松本学博氏ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府舞鶴市、舞鶴地方史研究会、福知山市文化スポーツ振興課など			
<b>【研究活動の要約】</b>			
<p>・府大の将来構想に位置づけられる、「文化庁・きょうと MALUI 連携センター(仮称)」事業のパイロット版として進めた。この事業は、文化庁、M（博物館）A（文書館）L（図書館）U（大学）I（企業・産業）ほか諸団体の持つ情報を集約し活かす拠点をつくり、より多面的で深い文化資源の活用を行うため以下の2事業を展開した。</p> <p>①福知山市夜久野町における文化遺産の活用と地域連携</p> <p>②福知山・舞鶴の文化資源データ作成、MALUI連携による情報連携プラットフォーム開発</p>			
<b>【研究活動の成果】</b>			
<p>・夜久野末窯跡群について出土炭化物の分析をおこない、燃料材の樹種についての情報を得た。また、ボーリング調査によって得られた土の中から花粉を抽出し、植生の変遷について検討をおこなった。</p> <p>・夜久野末窯跡群の現況の写真撮影をおこない、採集した土器について実測をおこなった。これらの作業を通して、窯群の全体像を把握することができた。</p> <p>・ACTR の成果報告会として、「ここまでわかった！うつわの里 中夜久野」を3月11日に中夜久野地区公民館を会場に実施した。夜久野町化石・郷土資料館とも連携し、学生たちによる成果報告と府大教員や福知山市職員を中心とした座談会をおこない、約40名の参加者とともに活発な意見交換をおこなうことができた。</p> <p>・MALUI連携WEB「まるまる舞鶴」を企画・制作した。これまでに蓄積した舞鶴地域の文化・歴史の基礎データ（約7000件、80万字）を整備し、紹介コラムを作成・掲載した。このWEBと連動した地域の歴史入門講座、史料調査体験など、地域で文化資源を活用する人材を育てる活動を各資料館・高等学校と検討した。</p> <p>・舞鶴郷土資料館、舞鶴地方史研究会と共同で、木船家文書8000点を調査し目録・画像を作成した。</p> <p>・福知山市の市史編さん資料を整理し29件、約8000コマのデータ化を完了した。</p>			
<b>【研究成果の還元】</b>			
2023.2.18 舞鶴地方史研究会2月例会 舞鶴市西公民館、約40名、報告「舞鶴歴史データの公開 MALUI 連携WEB」			
2023.3.6 文化庁京都移転記念フォーラム、京都府立京都学歴彩館、文学部主催、約180名、報告「大学教育と文化財の保護・活用」			
2023.3.11 成果報告会「ここまでわかった！うつわの里 中夜久野」、中夜久野地区公民館、歴史学科・福知山市教育委員会主催、約40名			
2023.3 MALUI連携WEB「まるまる舞鶴」制作			
<b>【お問い合わせ先】</b> 文学部 歴史学科 教授 東 昇			
Tel: 075-703-5271 E-mail: n-higashi@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）



「ここまでわかった！うつわの里 中夜久野」成果報告会



MALUI 連携 WEB「まるまる舞鶴」